

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
平成 27 年度 第 6 回理事会 議事録

開催日時：平成 28 年 2 月 26 日 18:30～

出席者：兼子、諏訪、浅野、藤井、帖佐、武藤、森、青木、松浦、関、高崎、大西、
可児、鈴木満、和田、多和田、近藤、鈴木敦、臼井、森本、渡辺、太田

欠席者：柴、山岸

議長：兼子 徹

議事録：藤井

日臨技より

藤井庶務部長より報告があった。

日臨技より会費の送金があった。平成 27 年度会費、入会金 1 名、10,000 円と 500 円で合計 10,500 円の送金があった。

平成 27 年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金 37,500 円があった。

平成 27 年度臨時総会議決権行使書回収手数料の送金が 62,500 円あった。岐臨技会員の 77.07%が議決権を行使した。

兼子会長より一般社団法人日本臨床検査薬協会プロモーション部会の説明があった。学会等会合開催費用における自己資金過半の考え方は、一般に、学会等の会合開催は、主催者である学会等が会員の会費で運営するものであり、そのためには、企画、活動に見合った会費を徴収するものと認識されております。寄付や、協賛は、無理にしなくても良いとの説明があった。また、どうしても協賛したい業者さんは、無理に断る必要もない。その時は、趣意書などの必要な書類を提出してもらおう。メーカーさんに労務のお願いはしない。学会等のテキスト広告料は、テキスト作成費の半分以上にする。半分以上は自己資金で作成する。

各地区報告

岐阜地区

青木理事より平成 27 年度岐阜地区総会を平成 28 年 1 月 13 日に松波総合病院で開催したとの報告があった。

平成 28 年・29 年度地区理事の選出では、後藤浩技師、早川恭江技師、兼子徹技師、林博之技師、高木康夫技師の 5 名が選出され承認をえた。

岐阜地区技師会会員数 336 名中、参加 24 名、委任状 212 名、過半数以上の参加をもって本総会は成立したとの報告があった。

諏訪副会長より岐阜地区健康まつりでのピロリ菌の苦情は、どのような内

容か質問があった。青木理事より、健康まつりの尿中ピロリ菌抗体検査が陽性であったが、病院で内視鏡検査したところ陰性であったため、検体取り違えがあったのではとの苦情があったと報告があった。

東濃地区

地区総会で、県立多治見病院の美濃輪 縁会員、多治見市民病院の棚村 一彦会員、中津川市民病院の市川 浩良会員が理事に選出されたとの報告があった。

平成 28 年度も「やさか健康まつり」に参加と報告があった。

東濃地区会員数 116 名中、参加 36 名、委任状 60 名、過半数以上の参加をもって地区総会は成立したとの報告があった。

中濃地区

古池理事より中濃地区総会の報告があった。

第 54 回岐阜県医学検査学会は演題数 12、広告協賛 9 社、座長は一部変更があり、3 月 10 日に第 2 回実行委員会を開催し、最終の打ち合わせを行う。

今年度活動報告、次年度活動予定、新地区理事選出の報告があった。

中濃地区からは、青木 洋子会員、乙訓 貴之会員、佐藤 恵彦技師が選出されたと報告があったが、佐藤会員は精度管理部長就任を予定しており、別の会員を選出するよう要請した。

古池理事より、平成 27 年度秋季拡大研修会決算書の報告があった。収入は、研修会参加費 75,000 円、広告料 120,000 円、合計 195,000 円であった。支出は、印刷製本費 75,000 円、講師料と交通費が 162,600 円、会議費 54,791 円、弁当代 82,000 円、振込手数料 216 円との報告があった。

高崎理事より第 54 回岐阜県医学検査学会の進捗状況について報告があった。

第 54 回岐阜県医学検査学会は、ランチョンセミナーが 2 社、教育講演が 1 演題、市民公開講座 1 演題。

抄録集製本が遅れ、3 月 7 日に完成となった。事務所に納品し、定期便とは別に、各施設、講師、座長宛に発送する。

2 月下旬に発表スライド提出締め切りとしていたが、当日受付で対応可能とした。

3 月 1 日が参加締め切りとなっている。

学会長前田 悟司会員、実行委員長藤井理事、事務局古池・高崎理事、実行委員 15 名で実務を担当。

抄録集は 250 冊で 200,000 円の予算と報告があったが、関理事より、西濃地区で行った時は、400 部作製したとの意見があったため、増刷する事にした。

3 月 1 日に印刷に回すので、誤字、脱字など校正の依頼があった。

座長は決定している。

市民公開講座のポスターを作成し、各施設で掲示のお願いがあった。

3月20日の当日関市民マラソン大会があり、大学の駐車場が市民ランナー用に使用される。抄録集発送の中に、駐車場と交通規制の案内を入れる。また、当日は、実行委員で誘導を行う。

座長に依頼状を作成中。

西濃地区

関理事より報告があった。

平成28年度春季拡大研修会の企画書（案）について報告があった。

日時：平成28年6月5日（日）、会場：大垣市情報工房5F スイंकホール、メインテーマ：「大腸・内視鏡」、参加人数：100名、を予定。

講演は、臨床一般部門、病理細胞部門に依頼する。

市民公開講座は、「健康」「検査」に関わりある題材を学術部門で講師予定。

ランチョンセミナーは、2社予定：一般検査、病理検査部門メーカーを中心に選定。

当日運営委員15名。

予算案の説明があった。収入は、研修会参加費が100,000円、広告料100,000円、支出は、製本費60,000円、印刷費75,000円、会場費60,000円、振込手数料200円、消耗品1,000円、講師料と交通費150,000円、会議費43,000円、学会運営費1,500円。

抄録集の製本費は自己資金過半の規定に従い、広告協賛料を含め見直しが必要である。

その他に関しては承認された。

岐臨技より

平成28年度 一般社団法人岐阜県臨床検査技師会の事業計画案について各部長より報告があった。

近藤学術部長より平成28年度学術部事業計画案について報告があった。

第65回日本医学検査学会が9月に神戸で開催。

中部圏支部医学検査学会が、12月に金沢で開催予定。

春季拡大研修会は、6月5日に西濃地区担当でテーマが、大腸・内視鏡で、一般、病理細胞部門の講演を企画。

秋季拡大研修会は、東濃地区担当で日時は未定、微生物、遺伝子部門の講演を企画。

各部門別研究班研修会は、生物化学分析部門が3回、臨床生理部門が6回、臨床一般部門が3回、臨床血液部門が5回、病理細胞部門が4回、臨床微生物部門が5回、輸血細胞治療部門が6回開催を予定。

遺伝子部門は、単独開催が困難なため、微生物・生物化学分析・血液・病理細胞部

門と合同行なう予定。

臨床検査総合部門では、検査説明ができる臨床検査技師育成講習会を開催。

岐臨技新人サポート研修会を5月29日に岐阜医療科学大学にて学術担当で開催。

検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会は、7月23、24日に岐阜大学多目的ホールで開催予定。

第32回岐阜県病院協会医学会が10月30日に飛騨・世界文化センターで開催予定。

多和田精度管理部長より平成28年度精度管理事業部活動案の報告があった。

検討事項について報告があった。

- ・HbA1cは溶血しないよう作製を試みる。ノーマル試料はCBC同様生血使用を検討する。
- ・生理検査フォトサーベイの呼吸機能に関する設問は2年ほど欠いていたが、次年度は2問いれたい。
- ・免疫血清のCA19-9、CA125は本年実施しなかった。試料が購入できるようなら次年度は実施したい。
- ・現在是正期間を設けて施設の不利益にならぬようにして評価しているが、是正前の結果が現状であるのでそれを考察し報告するのがよいのではないか。
- ・測定値の評価はルチンで行なっている一度の測定結果からされるのが好ましいので、実際に行なっている方法での結果提出を促す。
- ・アルフレッサさんを経由しての二次募集は応募がないため次年度からは行なわない。
- ・JAMTQCでアンケートが実施できるので活用するとよい。
- ・JAMTQC内でフォトサーベイの解説ができるので活用するとよい。
- ・総括集のPDF化（JAMTQC または 学術 HP）

次年度の会議などの予定の説明があった。

精度管理事業を11年行ってきたが、次年度は、佐藤 恵彦会員にお願いした。

佐藤会員は中濃地区理事に選出されており、組織運営規程の中に兼務はできないとあり、佐藤技師の代わりの理事を選出する事になった。

組織調査部臼井部長より平成28年度組織調査部の活動計画案の報告があった。

「検査と健康展」を11月に開催する予定。今後どこが主体で行なうか考えて欲しい。できれば地区でお願いできたらと考えている、と発言があり、今後の検討課題とした。

今年度は4つの健康イベントに参画した。次年度も参画の要請があった。

HIV・STI予防に関する事業は、毎年岐阜県から依頼があり、今年も依頼があれば参加の予定。

MSMを対象とした無料HIV検査会への参加も、依頼があれば参加したい。

功労者表彰及び永年勤続者表彰対象者の選出を行なう。

鈴木法人対応部長より平成 28 年度法人対応部事業計画案についての報告があった。

平成 28 年度定時総会にて、平成 27 年度決算が承認されたのち、速やかに公益目的支出計画実施報告を電子申請にて行い、県医療整備課と連絡をとりながら修正をしていく。

当初 13 年で公益目的財産額の 13,367,094 円を消化する予定であったが、平成 27 年度公益目的収支額が増え、当初の完了予定より 3 年短縮された。

法人対応部名称変更については、一般社団法人への移行・登録も終了し、公益目的支出計画実施報告も 2 度終え、法人移行に関する業務も落ち着いた為、法人対応部の名称を渉外部に変更する。渉外部の下に、生活習慣病委員会と環境改善委員会を置き、各 1 名、委員を配置する。

森本広報宣伝部長より平成 28 年度広報宣伝部事業計画案について報告があった。

会報の発行（年 4 回）

報告の主な内容

- ・春・秋期拡大研修会
- ・岐阜県医学検査学会
- ・中部圏支部学会の報告
- ・臨床検査関連学会の案内
- ・その他（部門研修会の報告がある場合）

ホームページの維持管理

ホームページ上での各所情報の提示

ホームページ バナー広告の管理及び新規獲得

藤井庶務部長より平成 28 年度庶務部事業計画案について報告があった。

研修会・連絡事項等の発送。（毎月 20 日）

常務理事会・理事会の開催案内送付。（メールにて）

事務所使用の管理

日臨技・各種団体・会員よりの問い合わせ等に対応。

各種の書類の管理。

議事録の作成。

会費管理に関する事項の対応。

定時総会出席者の日臨技生涯教育研修制度への登録。

定時総会の取り仕切り。

総会関連の議決権行使書の作成。

マンション管理組合総会への出席。

会計部長欠席のため兼子会長より平成 28 年度収支予算案について報告があった。

収益の合計が、12,728,000 円となった。

前年度との差額が大きい科目は次のとおり。

経常収益

「正会員会費」・「研修会等参加費」・「広告料」は前年度分の増加に合わせ増額。

「学会研修会助成金」は、平成 26 年度の実績に合わせ、減額とした。

経常費用

「事務員給与」は、事務作業の増大により増額した。

「報償費」は永年勤続表彰者が昨年度より少ないため減額とした。

「ホームページ維持費」は、平成 27 年度中より、管理業者と本契約を結んだため増額した。

「消耗品費」「製本費」は、平成 27 年度分の減少に合わせ、減額とした。

「試料代」は、平成 27 年度分の増加に合わせ、増額した。

「機器リース料」は、事務所のコピー機をリース契約としたため増額した。

前年度との差額の大きい事業は次のとおり

学術事業は、平成 26 年度を参考に、学術誌製本費を減額とした。

広報事業は、平成 27 年度中からバナー広告料をいただいております「広告料」を増額した。また「ホームページ維持費」は管理業者と本契約したため増額した。

組織調査事業は、永年会員表彰者の減少のため「報償費」を減額とした。

事務所運営事業では、平成 27 年度に合わせ「消耗品費」を減額とした。

「その他会計」の共通事業は、平成 27 年度に合わせ「正会員会費」を増額した。また、事務員の作業増大のため「事務員給与」を増額した。

兼子会長より平成 27 年度中間決算について報告があった。

収支計算書について

予算との差額の大きい科目

経常費用 ①事業費の「事務員給与」の増加は、事務作業の増大に、「ホームページ維持費」の増加は、ホームページをリニューアルしたことに、「講師等謝礼金」の増加は、研究部門研修会に多くの外部講師を招聘したことによるもの。

②管理費の「事務員給与」も①事業費と同じ理由による。

正味財産増減計算書について

前年度と差額の大きい科目

経常収益の「賛助会員会費収入」は、当年度は上期に入金があった。

「研修会等参加費収入」「学会研修会助成金収入」の増加は、主に検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会を、上期に開催したことによる。

経常費用の①事業費の「報償費」の増加は、永年会員を多数表彰したことによる。「ホームページ維持費」「講師等謝礼金」の増加は、収支計算書と同じ理由による。

貸借対照表・財産目録について

I 資産の部の「未収金」は精度管理参加費のうち、上期中に支払われなかったものの。

II 負債の部の「前受金」は、正会員会費の半分を下期分として「前受金」としている。他に、下期開催の、検査と健康展の助成金、秋季拡大研修会の広告料が上期中に入金があり前受金とした。

資産の部では、流動資産合計が 16,010,896 円、固定資産額が 4,526,394 円、資産合計が 20,537,290 円となった。

負債の部では、負債合計が 4,639,463 円となった。

正味財産合計は、15,897,827 円となった。

多和田部長より、総会は年 1 回になったが中間報告は行わないといけないのかと質問があった。兼子会長より、中間決算は総会では行わなくてもよいが、理事会では報告をするとの回答があった。

諏訪副会長より、事業費・管理費双方に、「事務員給与、日当、交通費、食卓費」があるが一緒にしてはいけないかとの質問があった。兼子会長より、今日の理事会など岐臨技の運営に関わる費用は管理費に、各事業の費用は事業費となると回答があった。次年度事業計画、予算案、中間決算の承認を得た。

学術部より

近藤学術部長より報告。

日臨技生涯学習参加登録は古いサーバーが終了し、1月の精度管理報告会から、新しい日臨技 web サイトへアップロードする説明があった。

岐臨技の 2 台のノートパソコンうちの 1 台を参加登録に使用し、県学会から使用する。今後、学会・研修会等でパソコンを使用する場合、受付で 1 台使用することになるとの報告があった。

岐阜県臨床検査技師会誌に 3 題の投稿があり、3 月の定期便で発送する予定。

精度管理事業部より

多和田精度管理事業部長より報告。

平成 27 年度精度管理調査は参加施設 72（メーカーを含む）、報告会 96 名（非会員 25 名を含む）の参加があった。

日医・日臨技精度管理報告会に出席するよう、兼子会長より要請があったため、平成 28 年 3 月 4 日、5 日に出張の申請書を提出したとの報告があった。

組織調査部より

臼井組織調査部長より報告があった。

平成 28 年度 岐阜県知事表彰には、一柳好江先生を推薦した。推薦の条件は 55 歳以上、役員歴（監事は含まない）15 年以上、岐臨技会員、現職の県・市町村職員は対象としない。

平成 28 年度叙勲は、岸正弘先生は対象年齢外のため推薦不可できず、大橋繁夫先生を推薦した。岐阜県と厚労省からは承認を受けたが、内閣府から承認が得られず、断念した。

表彰規定の変更について提案があり、第 6 条の「次のいずれに該当するもの」を「次のいずれかに該当するもの」に変更、第 6 条「研究班長を通年 4 年以上努め、且つ副班長歴が 2 年以上」を「研究班長又は部門長を通年 4 年以上努めた正会員」に変更したいとの提案があり、表彰規定の変更が承認された。

規定変更に伴い、坂本 寛文会員、前田 悟司会員、三田村 桂二会員、三輪 則之会員の 4 名は厚労省該当者となった。

永年職務精励者表彰では、継続して 25 年以上在籍、50 歳以上が条件で、15 名の該当者があるとの報告があった。その他に該当者に心当たりがあれば連絡の要請があった。

法人対応部より

鈴木法人対応部長より。

表彰規定を本日付で変更し、ホームページ掲載を依頼があった。

庶務部より

藤井庶務部長より報告があった。


定時総会の議決権行使書を昨年同様、各職場でのり付けをして、まとめて事務所に送る方式を取りたいとの発言があり、理事の意見を求めました。浅野副会長より、昨年のり付けしたものを開封するのに問題があり、そこまで行わなければいけないのかとの意見があった。兼子会長より、のり付けは、無しとする指示があった。


他の理事も開封が大変だったとの意見があった。会長より今年は、のりは無しで、折り線を入れて行ってくださいとの意見があった。


その他

多和田部長よりメールリストを作成し、各施設に一斉メールが送れるようにしたいとの意見がでた。兼子会長よりどこの部署で行うかは、新理事で考えますとの意見があった。多和田部長より精度管理支払いがすべて終わったかの問い合わせがあった。会長より支払いは完了していますとの回答があった。

兼子会長より、宮島喜文後援会に入っていない方は、無料ですので入会をお願いしますとの発言があった。

議長 兼子 徹 

議事録署名人 太田 義和 

議事録署名人 渡辺 新司  印